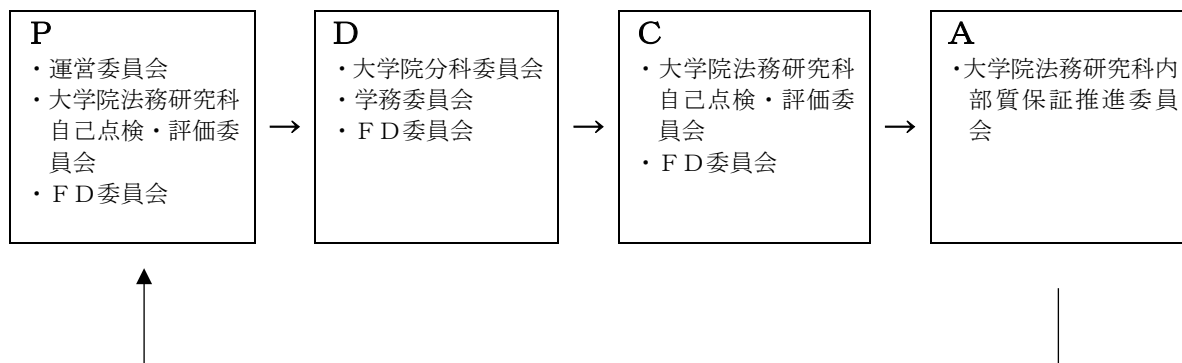


令和 7 年度全学自己点検・評価報告書

学部等名 大学院法務研究科

基準 2 内部質保証

- 1 内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し、改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名（例：教授会、自己点検・評価委員会、内部質保証推進委員会等）を明記してください。



- 2 上記 1 の PDCA サイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取組を行っていること。

<評価の視点>

- ・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

- ⑪ 学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院法務研究科内部質保証推進委員会は、月 1 回を原則として開催している。

近年では、主に、令和 5 年度受審の法科大学院認証評価に向けた改善事項等について、大学院法務研究科自己点検・評価委員会から報告を受け、今後も継続して改善事項を検討することや提出資料の作成作業等を滞りなく進めるよう指示をした。その結果、法科大学院の認証評価において、大きな指摘事項もなく、適合の評価を受けるに至った。

内部質保証に関するシステムの整備について、本研究科では研究科長を委員長として「大学院法務研究科内部質保証推進委員会」を設置し、同委員会が内部質保証の推進について責任を負う組織となり、FD委員会と連携し、大学院法務研究科自己点検・評価委員会、FD委員会が行う自己点検・評価活動の結果報告等を受けてそれを検証し、教育の質の保証のために教育研究及び管理運営等の諸活動について必要な改善・改革を指示・推進し、質の向上を図ることとしている。なお、FD活動の内容についてはFD委員会からの報告をもって、改善すべき事項等について必要な指示をする体制を整えている。大学院法務研究科内部質保証推進委員会は、研究科長、専攻主任に加えて、学務委員会委員長、FD委員会委員長、学生生活・就職委員会

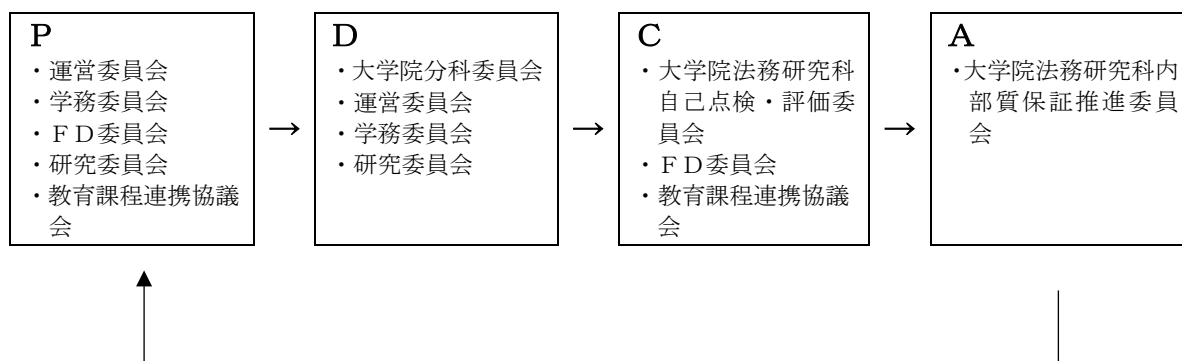
委員長，入学試験管理委員会委員長及び研究委員会委員長といった主要な委員会の委員長を網羅しているほか，公法系，民事系，刑事系それぞれの領域の教員をも網羅する構成となっている。

- 3 上記 1 の P D C A サイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和 6 年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 3 教育研究組織

- 1 教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

- ⑫ 学問の動向や社会的要請等に対応すべく、学科や研究所の新設、学科の改組等、教育研究組織の見直しについて、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学務委員会、FD委員会及び研究委員会により現状の把握と改善・向上に向けた取り組みを行い、FD委員会によるアンケート結果、大学院法務研究科自己点検・評価委員会が行う自己点検・評価活動の結果報告等を受けてそれを大学院法務研究科内部質保証推進委員会で検証し、教育の質の保証のために教育研究組織について必要な改善・改革の指示・推進を図る。

FD委員会においては、学生の視点に立った授業その他に関する改善が常に検討されかつ必要な改善が実現されている（「学生による授業評価アンケート」、「自由記述アンケート」、「学生との意見交換会」）。また、学生のみならず教員の視点からも授業内容や方法の改善が図られている（「教員による授業評価アンケート」）。さらに、授業において成績評価の厳格化・客観化をどのように達成するか、授業内容が法曹養成教育として適切かどうかの検討も適切になされてきた。

また、産業界の学外者も構成員になっている教育課程連携協議会で現状及び本研究科の活動に対する幅広い意見を受け、学務委員会等で実行に向けた検討を行い、大学院法務研究科内部質保証推進委員会で検証を行う体制になっている。

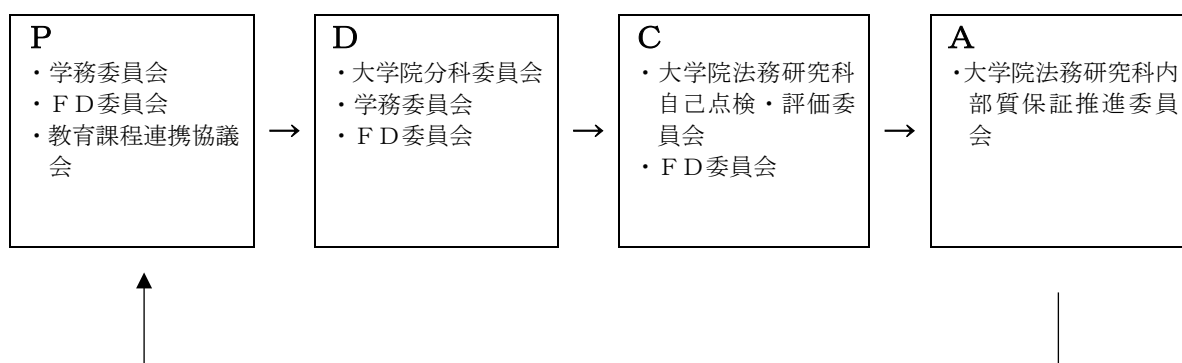
(様式1)

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 4 教育・学習

- 1 教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。
- ・課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。
- ・自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。

- ⑤ 教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

カリキュラムにおける学習成果の把握については，各教員が厳正に行っており，科目ごとに「成績評価基準」を作成し，学生に公開している。この内，「教育効果の達成状況」として記載された内容については，本研究科のFD委員会と学務委員会で学期ごとに検証を行い，学習成果の把握と適正な評価がなされているか確認している。評価について，科目の合格，不合格の判定は絶対評価で行うが，合格した者の成績評価（S，A，B，C）については相対評価で行い，過度な集中が起きないように，そのおおよその割合を決め，学生に公開している。

教育課程については，学務委員会で随時検証を行っており，また，産業界の学外者も構成員になっている教育課程連携協議会において，その編成について意見を受けている。

- ⑥ 教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

全科目で授業評価アンケートを行い，その結果を，本研究科のFD委員会及び学務委員会で検討している。アンケート結果を集計した資料を担当教員に渡し，次年度の授業改善に向けたアクションプランシートの作成及び提出を義務付けており，提出されたアクションプランシ

トは、その内容をFD委員会で検討している。また、自由記述により寄せられた、全体に対する学生からの意見について、授業や教育の方法に係る部分をFD委員会、授業の実施に係る部分を学務委員会で検討し、改善を図り、次年度のガイダンス等で学生に報告している。

【事例】

学生からの要望：レジュメのTKC（法科大学院教育研究支援システム）へのアップが、授業当日又は前日の科目もあり、印刷等の対応が難しいので、授業開始時に配布する等の対応をお願いしたい。

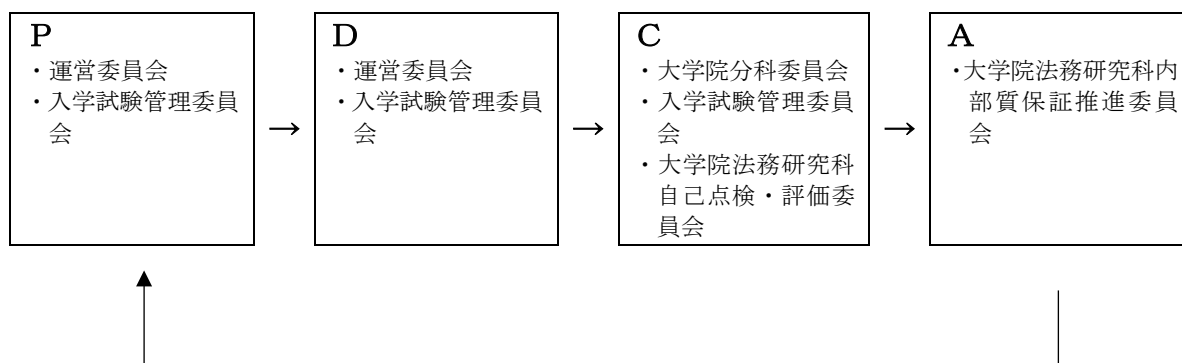
対応：従前より依頼していたが、再度、全教員に対し、授業1週間前を目安に、TKCに授業資料をアップしていただくよう周知して改善を図った。

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 5 学生の受け入れ

- 1 学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

- 59 学生の受け入れに関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生の受け入れに関わる事項は、入学試験や合格者判定とも深いつながりがあり、その業務上、秘匿性が高い情報を多く扱うため、主に入学試験管理委員会と運営委員会により、取組の検討と実施が行われている。法科大学院認証評価等の際に、大学院法務研究科自己点検・評価委員会が点検・評価し、これを受けて大学院法務研究科内部質保証推進委員会が検証を行い改善・向上策の指示・推進を図る。

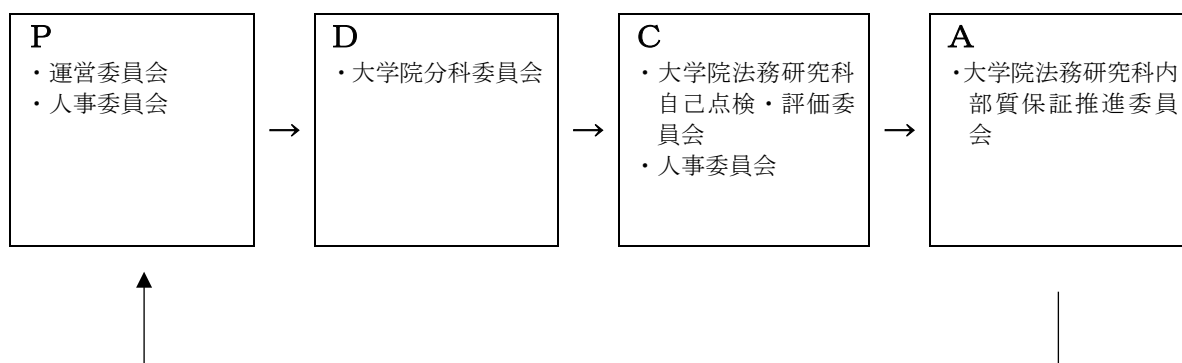
入学試験管理委員会において、入学試験の実施前に、各期の入学試験実施要項、面接実施要項及び書面審査要項を協議の上、教職員が共通認識をもつことで、適切かつ厳正な入学試験が実施されている。また、各種施策として、本学法学部出身者へは、PR活動、法曹コースとの連携や入学検定料の免除などを、社会人へは昼夜開講制の導入、ICTを利用した授業補助や自習室の開室時間延長などを実施し、志願者数の増加につながっている。

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告、改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告、改善課題）が付されている学部、通信教育部、大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 6 教員・教員組織

- 1 教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記 1 の PDCA サイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

㊦ 教員組織に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

人事委員会、運営委員会において、中長期的な人事計画を策定して継続的な教員確保を行い、法令に基づく人員の適正配置に努めている。大学院分科委員会で承認を受け実行となり、人事委員会で常に状況を点検し、法科大学院認証評価の際に大学院法務研究科自己点検・評価委員会でも点検・評価を行い、これを受けて大学院法務研究科内部質保証推進委員会が検証を行い改善・向上策の指示・推進を図る。

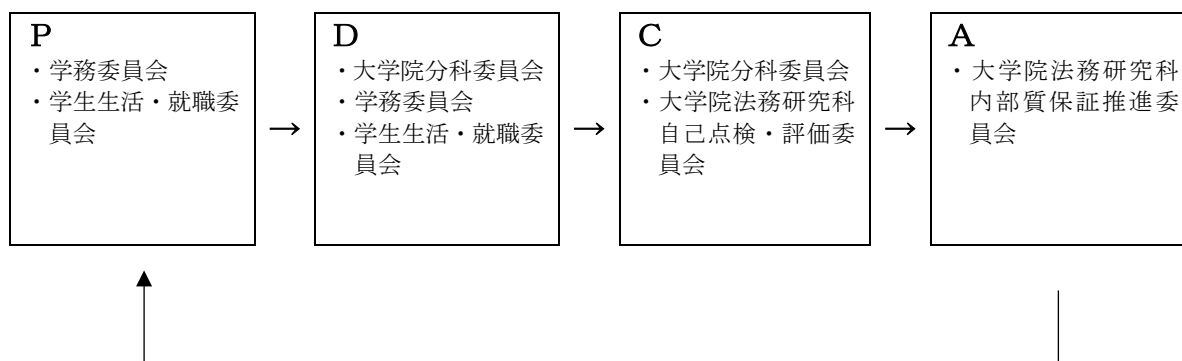
退職予定者については、あらかじめ把握して本学の「教員規程」及び「教員資格審査規程」に従い計画的任用に努めている。法律基本科目については、適切な数の専任教員を確保するために特に慎重に人事を行い、場合によっては、退職予定者の退職予定日の前に後任者を前倒して採用して、退職予定者とともに、一定の期間教育に当たることも可能にしている。近年では、若手教員の任用による年齢構成の多様化及び研究者の育成を図っており、令和 4 年度及び令和 7 年度に、本研究科の元助教を教員として採用している。

- 3 上記 1 の PDCA サイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和 6 年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告、改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告、改善課題）が付されている学部、通信教育部、大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 7 学生支援

- 1 学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- ・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

㊥ 学生支援に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

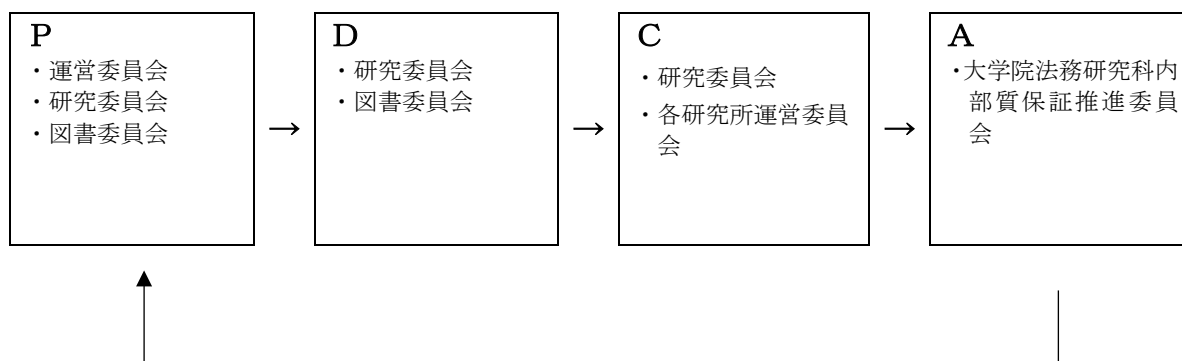
学生支援において、学習面での就学支援については、学務委員会が状況を把握し、成績不振学生への指導など、必要な措置を学務委員会及び大学院分科委員会で講じた上で、その効果を大学院分科委員会で成績の変化等で検証、法科大学院認証評価の際に大学院法務研究科自己点検・評価委員会でも点検・評価を行い、これを受けて大学院法務研究科内部質保証推進委員会が検証を行い改善、向上策の指示・推進を図る。また、経済面の就学支援、生活支援、進路支援及び学生の基本的人権の保障については、学生生活・就職委員会で状況を把握、問題が発生した場合にはその検討を学生生活・就職委員会、大学院分科委員会でを行い、大学院分科委員会で結果を確認し検証、法科大学院認証評価の際に大学院法務研究科自己点検・評価委員会でも点検・評価を行い、これを受けて大学院法務研究科内部質保証推進委員会が検証を行い改善を図っている。

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告、改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告、改善課題）が付されている学部、通信教育部、大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 8 教育研究等環境

- 1 研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取組へとつなげているか。

- ⑩ 研究等環境に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

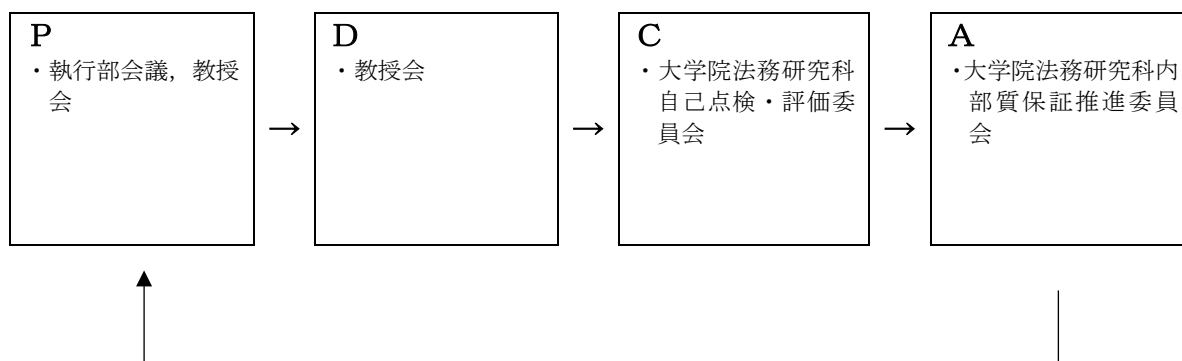
研究委員会、各研究所の運営委員会が定期的に委員会を開催し、点検・評価を行っている。方法として研究委員会では、教員へ3月に個人研究費に係る実績報告書の提出を依頼し、当該年度に実施した研究成果・業績等を確認することにより行っている。各研究所の運営委員会では4月に活動状況の報告、共同研究の「実績報告書」及び次年度の「研究計画」を報告することにより行っている。必要な場合は、執行部会議、教授会、運営委員会及び大学院分科委員会に上程している。改善・向上を図った事例として、博士論文を出版する若手研究者に対して、出版助成費を給付する制度を制定した。また、法学部研究費（学術研究費（個人研究・共同研究））の各支出費目の給付額について給付限度額を設けていたが、その内規について給付限度額を設けないように改正し、研究費を執行しやすいように改善した。

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告、改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告、改善課題）が付されている学部、通信教育部、大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準 9 社会連携・社会貢献

- 1 社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して、以下のPDCAサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお、事案により対応する組織名が異なる場合は、下記の図をコピー＆ペーストして、事案ごとにそれぞれ記載してください。



- 2 上記1のPDCAサイクル図に基づき、以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。

<評価の視点>

- ・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
- ・点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取組へとつなげているか。

⑩ 社会連携・社会貢献に関わる事項について、どの組織が、どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また、その結果、改善・向上を図った事例等について記述してください。

防火・防災関係についての社会連携については、防火防災対策委員会が、大学院法務研究科自己点検・評価委員会からの指示の下で点検・評価を行っている。

- 3 上記1のPDCAサイクル図に基づき、【添付書類⑤】令和6年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし